



振動応用技術で、世界を開く

スーパー 取扱説明書



ES-550A・ES-770

★お買い上げありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

エクセン株式会社

○ ま え が き

このたびはエクセン製品をご購入いただきありがとうございます。この製品は徹底した品質管理のもと製造されています。

スイーパーについてのご質問がありましたら、販売店もしくは最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

この取扱説明書は、スイーパーを安全で効率的に使用していただくためのものです。ご使用前に注意深く「安全注意事項」の章をお読みください。

この取扱説明書は、ユーザーがいつでも見られるようにスイーパーとともに保管してください。この製品の貸与、または販売した際、一緒に取扱説明書もお渡しください。

この取扱説明書の画像は一般理解のためのもので実際とは異なる場合もあります。

も く じ

○ ま え が き	1
○ はじめに	2
○ 安全注意事項	3
○ 各部の名称	8
○ 運転の開始	10
○ スイーパーを使う	12
○ 運 搬	15
○ ハンドルの取りはずしと保管	17
○ 保守および注意	19
○ 仕様・製品寸法	21
○ トラブルシューティング	22

○ はじめに

1.1 シンボルマークについて



警告：危険な事態を示す。人に及ぼす健康被害や致命的な事故の恐れがあります。



注意：警告や注意を防げない場合、資産や周囲のものに損害を及ぼす恐れがあります。

注）：効率的で円滑な動作のための情報と同様に役に立つヒントおよび推奨事項。

1.2 技術改良

製品の仕様変更などにより予告なく変更される場合があります。そのため、ユーザーのご購入時の取扱説明書と内容や仕様が異なる場合がございます。

1.3 保証

- ・スリープリップや傾斜ホイール・ホイールのような消耗部品は除外されます。
- ・純正部品を使用してください。
- ・スリーパーの改造は一切行わないでください。
- ・明らかに使用状況が悪い場合は保証の対象外となります。

1.4 対象者

この取扱説明書はES-550A/ES-770を使用する人を対象にしています。

前提条件

- ・スリーパーを操作する人は機械の使用に関する危険を知らされていなければなりません。
- ・スリーパーを操作する人は休息を取って、健康状態が良好でなければなりません。
- ・スリーパーを貸し出す場合は、スリーパーに精通している人に対して貸与してください。
- ・今回初めてスリーパーを使用する人は操作する前に、スリーパーに精通した人による、安全運転の説明を受けなければなりません。
- ・子供にはスリーパーを触らせないでください。
- ・監督者のもと訓練を受ける方を除いて、未成年者はスリーパーを運転してはなりません。
- ・安全責任を負う監督者や使い方を知る方からの指導がなければ身体的、精神的に制限のある方や経験や知識が欠如する人（子供を含む）がスリーパーを運転してはなりません。
- ・健康上の理由により激しい身体活動を禁止されている人は、スリーパーの使用前に医師に相談してください。
- ・アルコール、反射時間が悪化する薬やその他の薬の服用後は、スリーパーを運転しないでください。

○ 安全注意事項

安全注意事項は、スリーパーの不適切な使用によって起こりうる身体への危険、財産への損害を未然に防ぐためのものです。

こうした理由から使用前にこの取扱説明書をきちんとお読みいただき安全注意事項を守ってください。

取扱説明書記載の事項を守らなかったために生じた事故や損傷の責任はユーザーにあります。

2.1 使用用途

このスリーパーは、最先端の技術と認識に従って設計され安全規制を満たしています。

それでもなお、ユーザーまたは第3者への危険やスリーパー本体または他の物的資産への損害につながる可能性があります。

スリーパーは、商用目的での利用を想定しています。たとえばホテル、学校、病院、工場。

スリーパーは、道路の汚れ、落ち葉、草、紙および同種のことを清掃するために設計されています。砂利道、雪道、水たまりでは使用しないでください。

清掃以外への使用には不適切です。その結果として発生する損傷に対しては責任を負いかねます。ユーザーは自身で関連リスクの責任を負う必要があります。

不適切な使用によって発生する損傷は、いかなる場合でも責任を一切負いません。

スリーパーを使用する場合は次の情報を守ってください。

- ・この取扱説明書の中の「安全注意事項」。
- ・この取扱説明書の「仕様」の章。
- ・メーカーによる運転、保守および保管状態のコンプライアンス事項。
- ・騒音発生装置の運転を禁止する国、自治体の規制。

スリーパーで次のようなものを回収しないでください。

- ・発火性があるもの（ライター）、火のついたもの（タバコやマッチ）。
- ・可燃性、爆発性のものや有毒物
- ・ロープやひも状のゴミ

スリーパーは爆発の危険区域での使用、または輸送手段として使用しないでください。

2.2 運転のための安全注意事項／安全運転維持

スイーパーを使用する場合は、きちんとした服装で操作してください。

長い髪は、帽子などで覆ってください。また、だぶだぶの服装やネックレスなどの装身具は、スイーパーへ巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。

規則で求められる場合や必要だと判断した場合は保護具を使用してください。

- ・滑り止めのついた履物を使用してください。
- ・粉じんの多い場所や舞っている所では、防じんマスクを着用してください。
- ・安全手袋を着用してください。

使用目的が遂行できるように保守作業を徹底し、また安全性、周囲のものに注意を払ってください。

スイーパーについてのすべての安全規定と危険性規定に従ってください。

ユーザーはスイーパーを末永く使用するため、すべての警告と情報の認識および理解をしてください。

純正部品および付属品以外の部品を使用しないでください。

メーカーの許可なくスイーパーの安全性を損なう改造は行わないでください。純正部品および付属品以外の部品を使用したことで発生した負傷や財産への損害は責任を負いません。

スイーパーの改造は一切行わないでください。

この取扱説明書に記載されている保守作業を定期的に行ってください。

2.3 運搬の手順 注)

- ・ダストケースのハンドルを持ってスイーパーを運搬しないでください。
- ・車で運搬する場合、転倒防止のためスイーパーを固定してください。

2.4 作業準備に関する手順 けがの危険

- ・作業者は操作して差し支えない健康状態の際に、スイーパーを操作してください。
- ・スイーパーはすべての部品が損傷を受けていない場合に限り、操作してください。
- ・スイーパーを操作して差し支えないことを確認してください。取扱説明書の相当する章に注意してください。

2.5 運転の手順

引火性

- ・発火性のあるもの（ライター）、ロープやひも状のゴミ、燃えているもの（タバコ、マッチなど）は回収しないでください。

事故リスク

- ・使用目的を守ってスイーパーを使用してください。
- ・スイーパーの上に乗ったり、移動手段にしたりしないでください。
- ・備えつけのダストケースがない状態でスイーパーを運転しないでください。
- ・回転中のブラシに絶対手を入れないでください。
- ・走行中のスイーパーに絶対手を入れないでください。
- ・スイーパーを操作している場合、周りに子供がいないか注意を払ってください。
- ・路面がぬれている場所で使用する場合は、滑らないように注意してください。スロープまたは斜面では滑る危険性があります。
- ・運転中、柵や足場にスイーパーが衝突しないようにしてください。ものが倒れたり、落下したりする危険性があります。
- ・疲労を溜めないように適度に休息を入れてください。
- ・円形ブラシやブラシロールにゴミなどが詰まっている場合は、詰まりを取り除いてください。ガラス片、金属片または鋭利なもので手を切らないように安全手袋を着用してください。
- ・スイーパーが負荷を受けた場合（たとえば衝突や落下）操作に差し支えないか確認してください。また、「2.4 作業準備に関する手順」を参照してください。
- ・何らかの損傷を受けたスイーパーを使用しないでください。ご質問がありましたら、販売店もしくは最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

爆発の危険性

火花は爆発の危険区域で塵または蒸気には点火し、爆発を起こすことがあります。

- ・爆発の危険がある範囲で絶対にスイーパーを使用しないでください。
- ・可燃性液体（蒸気）、ガスまたは塵の近くで絶対にスイーパーを使用しないでください。

けがの危険

- ・スイーパーは1人で操作することを想定して設計されています。他の人と一緒に操作を行わないでください。
- ・スイーパーに子供、動物を近づけないでください。
- ・ユーザーは、他人や所有物相手に発生する事故やリスクの責任を負っています。



注 意

不適切な使用によるスイーパーへの損傷。

- ・操作する上で著しい変化（かなり震える、動きが鈍いなど）があった際、作業を中断し原因を調べてください。
- ・スイーパーを雨ざらしにしないでください。

注)

- ・落ち葉を回収する場合に、スィーパーの前方を持ち上げて、ゴミをダストケースの後ろ側に一時的に移動させることによって、より落ち葉を回収することができます。
- ・両手でハンドルを押してください。
- ・スィーパーを前へ押しながら状況に応じた速度で使用してください。
- ・スィーパーは、わずかにハンドルを押し下げることによって2～3 cmの段差を乗り越えることができます。
- ・障害物（歩道縁石など）をスィーパーで押すと損傷する恐れがあります。
- ・清掃能力が低下したらダストボックスがいっぱいか、円形ブラシとブラシロールの間にゴミが詰まっていないか、ブラシが摩耗していないか確認してください。

2.6 ダストケースがいっぱいになっているレベルの情報

注)

- ・ゴミが回収できない場合はダストケースの容量がいっぱいです。
- ・引き続き作業を継続する場合スィーパーの前方を持ち上げてください。ゴミをダストケースの後ろ側に一時的に移動させることによって、よりゴミを回収することができます。

2.7 スィーパーの掃除手順

注)

- ・掃除は適切な機能および、スィーパーの長寿命を確保するために必要です。
- ・蓄積されたゴミ、およびブラシロールの取り付け金具の後ろに巻きついたロープやひも状のゴミなどは、スィーパーの動きを悪くし、本来の機能を損なう可能性があります。

けがの危険性

- ・ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。

注 意

不適切な清掃によるスィーパーへの損傷。

- ・清掃を行うためにグリス除去剤を使用しないでください。
- ・強い洗浄剤を使用しないでください。
- ・圧縮空気で円形ブラシおよびブラシロールを清掃しないでください。
- ・水によるスプレー洗浄（ハイウォッシャー）または水に浸漬しないでください。
- ・湿らせた布などでプラスチックの部品をふいてください。

2.8 作業終了時の手順

注)

- ・使用後はゴミを捨ててから保管してください。

健康リスク

- ・ほこりが舞い上がらないように可能であれば屋外でダストケースのゴミを捨ててください。

2.9 保管に関する指示

事故リスク

- ・ ハンドルが不意に倒れる場合があるのでハンドルの継手部分（ハンドルホルダーとハウジングの間）に手を入れないでください。
- ・ スイーパーを保管する場合は安全な所においてください。
- ・ 不適切な利用を防止するためにスイーパーを厳重に保管してください。
- ・ スイーパーが落下したり、ハンドルが不意に倒れたりしないようにスイーパーを固定してください。

注)

- ・ 屋根のある場所でスイーパーを安全に保管してください。
- ・ 直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ・ 火やファンヒーター・ストーブ、その他の放熱設備などの熱源のそばでは保管しないでください。

2.10 メンテナンスおよび修理に対する手順

注)

- ・ 定期的にスイーパーのメンテナンスを行ってください。



注 意

不適切なメンテナンスによるスイーパーへの損傷。

- ・ 修理やオーバーホールする場合は最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

2.11 廃棄に関する手順



注 意

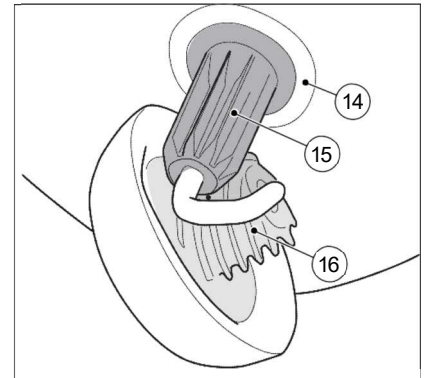
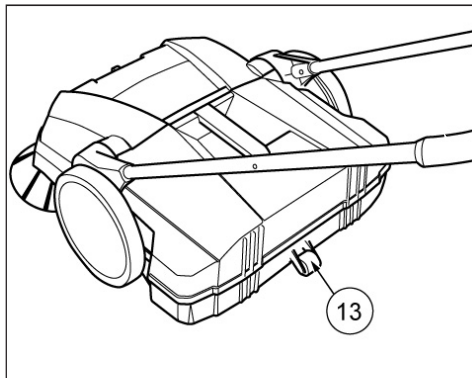
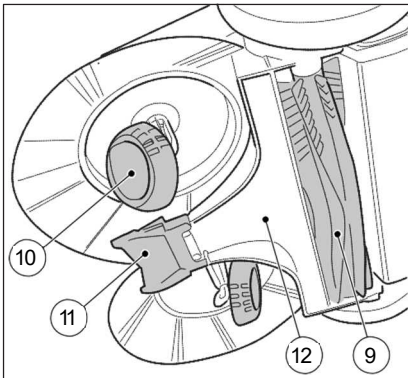
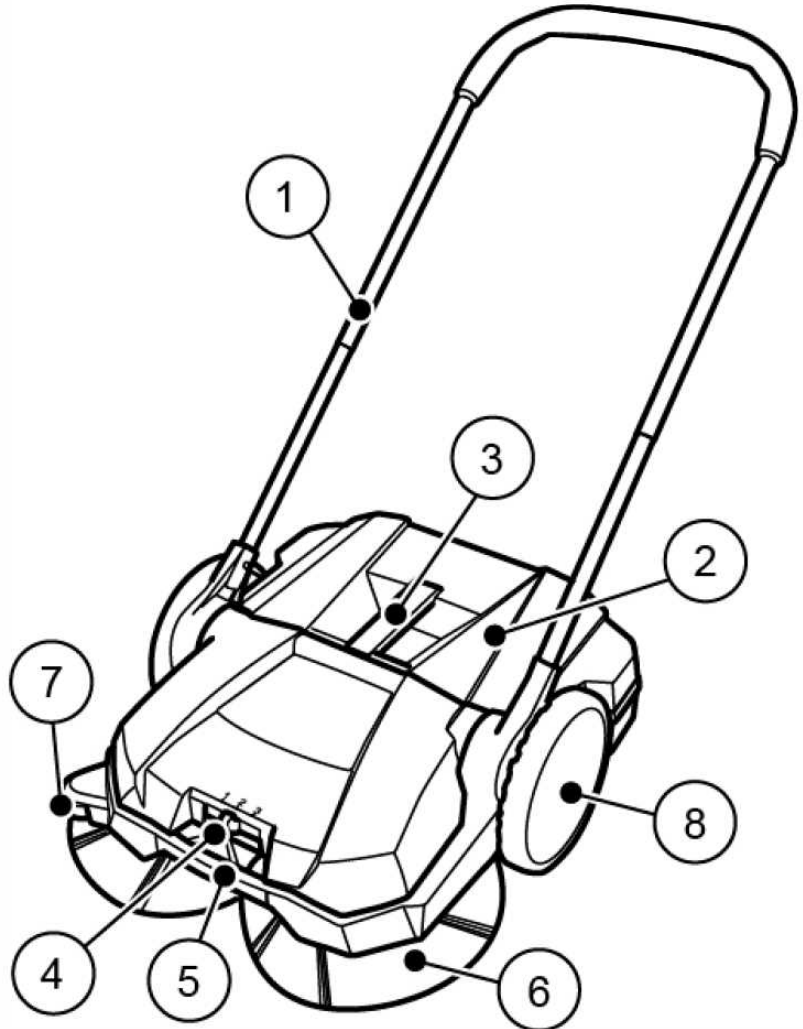
- ・ 環境負荷物質（特に交換部品の不適切な廃棄）の不適切な取り扱いが環境に相当なダメージを与える可能性があります。

○ 各部の名称

3. 1 重要な構成部品

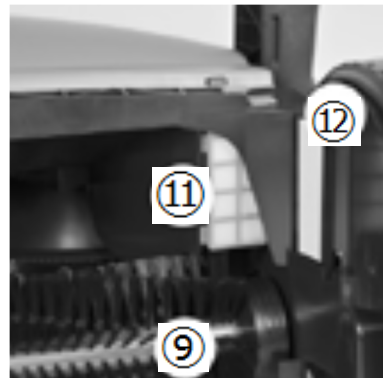
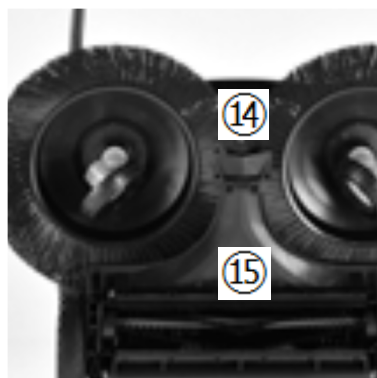
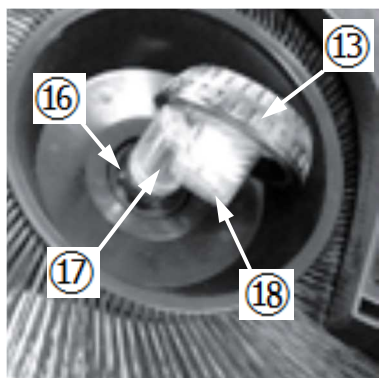
●ES-550A

1. ハンドル
2. ダストケース
3. ダストケースハンドル
4. 円形ブラシ高さ調整
5. キャリングハンドル
6. 円形ブラシ
7. エッジガイドローラ
8. ホイール
9. ブラシロール
10. 傾斜ホイール
11. スイープリップ
12. スイーププレート
13. トレッドホイール
14. クラッチ
15. ギヤスリーブ
16. 傾斜ホイールギヤ



●ES-770

1. ハンドル
2. ダストケース
3. ダストケースハンドル
4. 高さ調整ダイヤル
5. キャリングハンドル
6. 円形ブラシ
7. エッジガイドローラ
8. ホイール
9. ブラシロール
10. 据え付けブラシ装置
11. フィルター
12. シリアル番号
13. 傾斜ホイール
14. スイプリップ
15. スイーププレート
16. クラッチ
17. ギヤスリーブ
18. ギヤ保護具



○ 運転の開始

ハンドルの取り付け

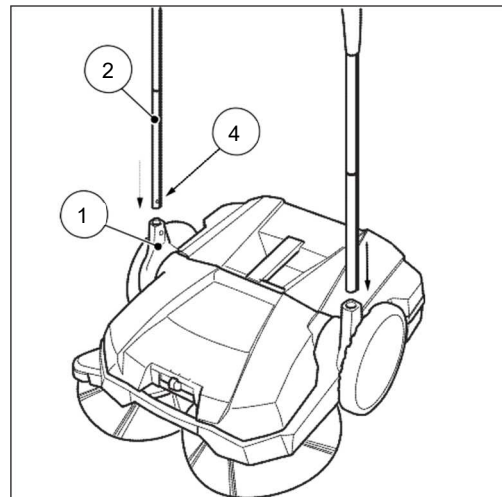
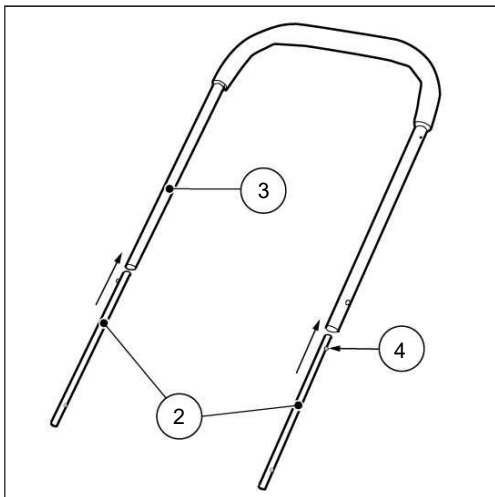
けがの危険性

- ・ハンドルが倒れて、けがをしないようにしてください。

●ES-550A

注)

1. ハンドルホルダー (①) が上方向へ垂直になるように回してください。
2. ハンドルチューブ (②) にロックスプリング (④) を押し込みながら、ハンドル (③) とロックスプリング (④) が噛み合うまで押し込んでください。(両側)
3. 同時に2つのハンドルチューブ (②) をハンドルホルダー (①) に押し込んでください。
4. ハンドルチューブのロックスプリング (④) を押し込みながら、ハンドルホルダー (①) に押し込んでください。

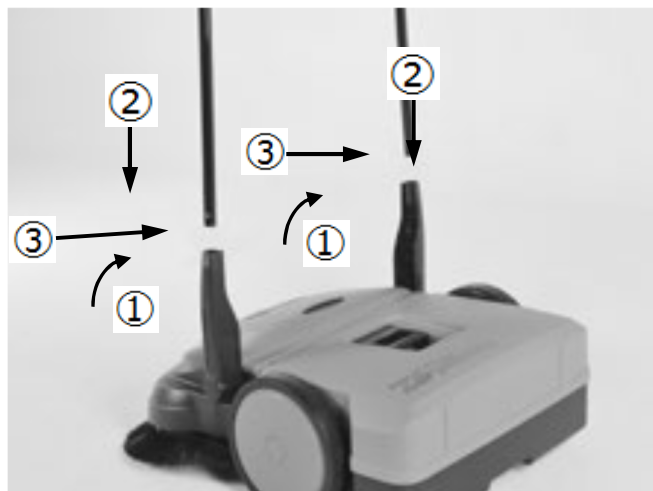


●ES-770

注)

ハンドルは、ユーザーの背丈に応じて2段階に調整できます。

1. ハンドルホルダー (①) が上方方向へ垂直になるように回してください。
2. ハンドル (②) にスプリングクリップ (③) を押し込んでください。
3. 同時にハンドル (②) を2つのハンドルホルダー (①) に押し込んでください。
4. スプリングクリップが噛み合うまでハンドルホルダーにハンドルを押し込んでください。



○ スイーパーを使う

5.1 使用方法

1. スイーパーを確認してください。（「8. 保守および注意」を参照）
2. スイーパーを調整してください。（「5.2 スイーパーの調整」を参照）
3. 両手でハンドルを操作してください。
4. 通常の歩行速度でスイーパーを押してください。
5. 必要に応じてダストケースのゴミを捨ててください。（「5.3 ダストケースを空にする」を参照）

5.2 スイーパーの調整

円形ブラシの高さ調整

注)

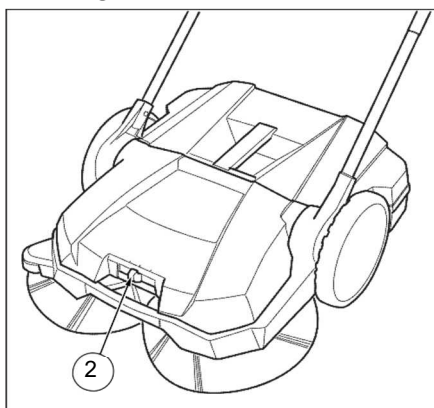
- ・円形ブラシを地面へ強く押さえつけないでください。
- ・過剰に押し付けても清掃効果が高まるわけではなくブラシの摩耗が進みます。
- ・過剰に押し付けると押し込み抵抗が高くなります。

注)

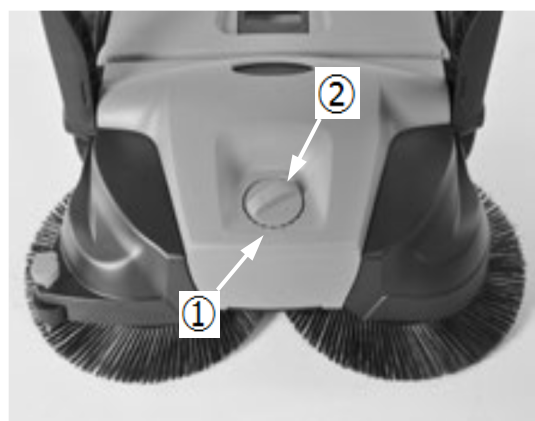
円形ブラシの高さ調整装置は前部分の中央にあります。高さ調整ノブは円形ブラシの高さを調整し、ゴミの回収調整するものです。

1. 必要なレベルに調整してください (①)。(【 】内は、ES-770のレベルを表します。)
 - ・レベル 1【1-2】：すべて平らで硬い表面向き。
(例：アスファルト、コンクリートスラブ、床タイル)
 - ・レベル 2【3-4】：ぬれた落ち葉、砂、水平の床向き。
(例：洗浄したコンクリートスラブ、むき出しの骨材コンクリートタイル)
 - ・レベル 3【5-8】：かなり汚れのひどい所および非常にでこぼこの表面向き。
2. 上記を参考に高さ調節ノブ (②) を希望の位置へセットしてください。
通常はレベル1～2【1～3】で使用し、ゴミの回収が悪くなったら1段ずつ上げてください。
レベル3【8】まで調整が必要になった際は、部品の交換が必要です。

●ES-550A



●ES-770



据付けブラシ装置の調整 (ES-770)

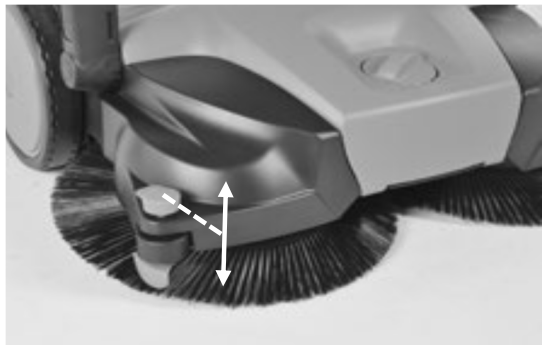
注)

据付けブラシ装置で右の円形ブラシを調整して隅を掃除できます。(壁および縁石など)

低過ぎる位置で調整した際は、過度の磨耗が発生する可能性があります。

据付けブラシ装置は地面でこすらないでください。

- ・隅およびコーナーの掃除：ブラシ装置のハンドルを押し下げてください。
- ・表面における操作：据え付けブラシ装置のハンドルを引き上げてください。



5.3 ダストケースを空にする

負傷の危険性

- ・ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。

健康リスク

- ・ほこりが舞い上がらないように可能であれば屋外でダストケースのゴミを捨ててください。
- ・ほこりが舞っている状態で防じんマスクを着用してください。

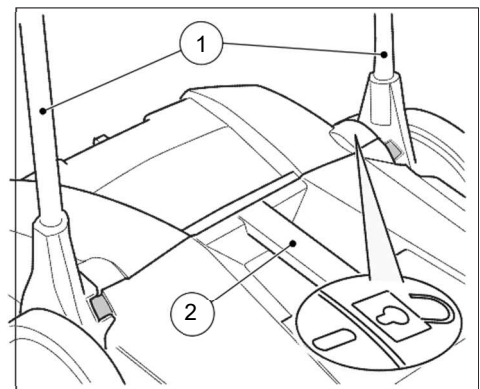
注)

使用後はゴミを捨ててから保管してください。

性能を維持するために定期的にダストケースのゴミを捨ててください。

●ES-550A

1. ハンドル (①) を垂直にします。この位置でダストボックスが取りはずせます。
2. ダストケースのハンドル (②) を持って、上に引き上げてください。
3. ダストケースを取りはずして回収したゴミを捨ててください。
4. ダストケースの合わせ部分が汚れていないことを確かめてください。
5. ダストケースを取り付けてハンドルを操作する位置に戻します。



●ES-770

1. 平らになるようにハンドルを折りたたんでください。
2. ダストケースのハンドルを上引き上げてください。
3. ダストケースを取りはずして回収したゴミを捨ててください。
4. ダストケースの合わせ部分が汚れていないことを確かめてください。
5. ダストケースを取り付けてハンドルをロックしてください。



5.4 スーパーの掃除

負傷の危険性

・ガラスの破片、金属片または鋭利なものの負傷を防ぐために、安全手袋を着用してください。



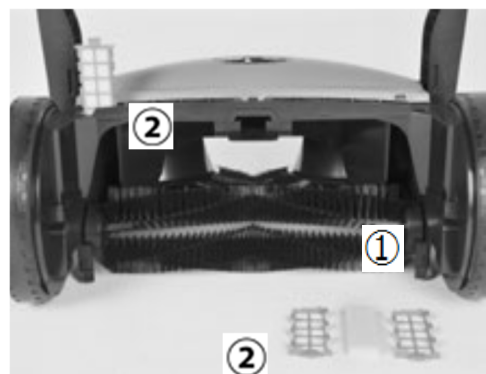
注 意

不適切な清掃によるスーパーへの損傷。

- ・ほこりと汚れを取り除くためにスーパーを清掃してください。
- ・清掃を行うためグリス除去剤を使用しないでください。
- ・強い洗浄剤を使用しないでください。
- ・高圧洗浄機で清掃しないでください。
- ・水分からベアリングを保護してください。(ES-770)
- ・水によるスプレー清掃（ハイウォッシャー）または水に浸漬しないでください。
- ・圧縮空気で円形ブラシおよびブラシロールを清掃しないでください。圧縮空気の噴射はブラシの毛を損傷する可能性があります。
- ・湿らせた布などでプラスチックの部品をふいてください。
- ・グリスや潤滑剤など絶対に塗布しないでください。グリスや潤滑剤にほこりやゴミが付着して、部品の磨耗が早くなります。
- ・8時間の稼働毎に清掃を行ってください。

1. 円形ブラシおよびブラシロール (①) の汚れを取り除いてください。また湿らせた布で駆動装置をふいてください。
2. 湿らせた布でプラスチックの部品をふいてください。
3. フィルター (②) を水で洗浄してください。

(ES-770)



○ 運 搬

6.1 スーパーを運ぶ

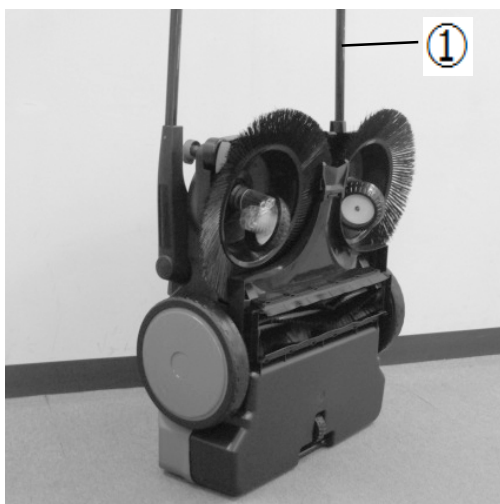
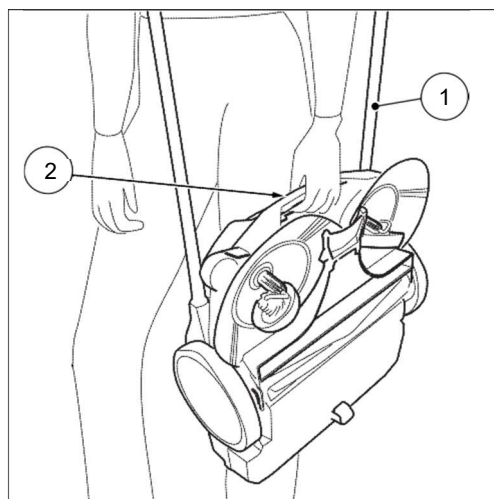
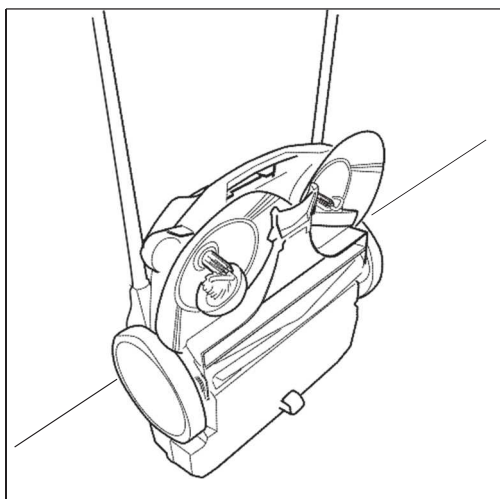
負傷の危険性

- ・ユーザーがけがをしないように、しっかりとスーパーを持ってください。
- ・ダストケースのハンドルを持ってスーパーを運ばないでください。

注)

キャリングハンドルを持ってスーパーを運んでください。スーパーを落とさないでください。

1. 平らになるようにハンドル (①) を前方へ折りたたんでください。
2. キャリングハンドル (②) を持ってスーパーを持ち上げてください。
3. 円形ブラシが外側に向くように持ってスーパーを運んでください。



6.2 車両を使ってスイーパーを運搬する

注意

不適切な運搬によるスイーパーへの損傷。

- ・円形ブラシの毛先が曲がらないようにスイーパーをおいてください。
- ・倒れたり落下したりしないようにスイーパーを固定してください。
- ・固定ストラップを使用しスイーパーが滑らないように固定してください。

1. ハンドルを取りはずしてください。
(「7.1 ハンドルの取りはずし」を参照)
2. スイーパーを車両に乗せてください。
3. 固定ストラップでスイーパーを固定してください。



○ ハンドルの取りはずしと保管

7.1 ハンドルの取りはずし

負傷の危険性

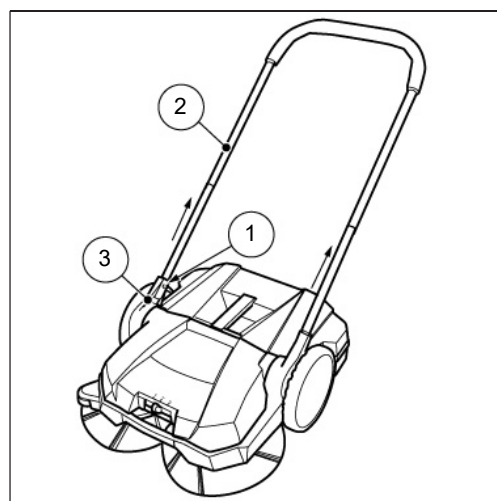
- ・ハンドルを倒して、けがをしないようにしてください。

注)

車両で運搬時に省スペース化するため、ハンドルをスイーパーから取りはずすことができます。

●ES-550A

1. ロックスプリング (①) を押しながら、ハンドル (②) をハンドルホルダー (③) から引き抜きます。
2. 両側同時に行ってください。



●ES-770

- 1.ハウジングについている矢印 (①) に、ハンドルホルダーの取っ手を合わせるように調整してください。
2. ハンドルの間、スイーパーの前に立ってください。
3. 両手で両方のハンドルをつかんでください。
4. 丁寧に両方のハンドルホルダーを外側へ押し広げてください。
5. 同時にスイーパーのハウジングからハンドルホルダーを引き抜いてください。



7.2 スイーパーの保管

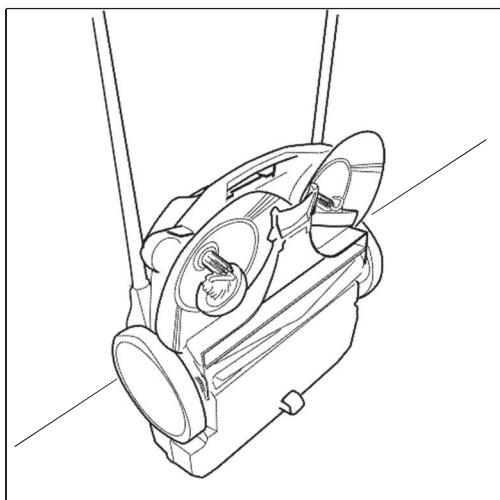
⚠ 注意

不適切な保管によるスイーパーへの損傷。

- ・ブラシの毛が曲がらないようにスイーパーをおいてください。
- ・倒れたり落下したりしないようにスイーパーを固定してください。
- ・屋根のある場所で保管してください。
- ・直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ・火やファンヒーター・ストーブ、その他の放熱設備など熱源のそばでは保管しないでください。

注)

- ・ダストケースのゴミを捨ててから保管してください。（「5.3 ダストケースを空にする」を参照）
- ・保管時、ハンドルやスイーパー本体が転倒しないように確実に固定してください。
- ・省スペース保管：立てて保管してください。
- ・スイーパーの掃除。（「5.4 スイーパーの掃除」を参照）



○ 保守および注意

注 意

不適切な保守によるスイーパーへの損傷。

- ・定期的にスイーパーのメンテナンスを行ってください。
- ・この取扱説明書に記載のメンテナンスおよび修理だけを実施してください。
- ・修理やオーバーホールする場合は最寄りの支店・営業所にお申し付けください。
- ・純正部品を使用してください。事故および損傷の恐れがあります。
- ・ご不明な点は販売店または最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

8. 1 定期保守

8. 1. 1 運転準備

スイーパーの状態を確認してください。

ハンドルがスイーパー本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。

ダストケースの状態を確認し、しっかりと取り付けられていることを確認してください。

円形ブラシおよびブラシロールの汚れをチェックし、ブラシが自由に動くことを確認してください。

必要ならば円形ブラシおよびブラシロールの汚れを取り除いてください。

円形ブラシの高さ調整を確認し清掃面との高さを調整してください。

(「5.2 スイーパーの調整」を参照)

清掃圧力調整を確認してください。清掃面との距離を調整してください。

ハンドルの汚れなどは落としてください。

スイーパーの損傷を確認し必要ならば販売店または最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

8. 1. 2 作業終了後

フィルターを掃除してください。(「8.2 フィルターの掃除」を参照)

スイーパーを掃除してください。(「5.4 スイーパーの掃除」を参照)

8. 1. 3 8時間の運転のたびに

ブラシ装置を掃除してください。(「5.4 スイーパーの掃除」を参照)

8.2 フィルターの掃除（ES-770）

負傷の危険性

- ・圧縮空気で清掃しないでください。
1. ダストケースをはずしてください。
 2. フィルターフレームをガイドの外に引き出してください。
 3. フィルターフレームからフィルターを取りはずしてください。
 4. フィルターを清掃してください。
 5. 水でフィルターを洗浄し、十分に乾燥させてください。
 6. フィルターフレームを洗浄後、元の位置に取り付けてください。
 7. ガイドに両方のフィルターフレームを取り付けてしてください。
 8. ダストケースを取り付けてください。



8.3 閉塞を取り除く

負傷の危険性

- ・ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。
1. ブラシおよび軸に巻きついたロープやひも状のゴミを取り除いてください。
 2. 詰まったものを取り除いてください。（石、枝など）

8.4 スーパーの清掃

⚠ 注意

- ・不適切な潤滑剤によるスーパーへの損傷。
 - ・オイルやグリスの使用はブラシ装置の機能を損なう可能性があります。
1. スーパーに付着した汚れは、水洗いを行った後、布で水分を取り除いてください。

8.5 ブラシの毛を真直ぐにする

引火の恐れあり

- ・ブラシの毛を温めるために裸火またはバーナを使用しないでください。
- ・ヒートガンを使用しないでください。過度な温風を当てるとブラシが溶ける可能性があります。

注)

再度、熱風送風機であたためると曲がったブラシの毛を真直ぐにすることができます。

熱風送風機（ヘアドライヤー）を使用してブラシの毛を加熱してください。曲がったブラシの毛が真直ぐになります。



○ 仕様・製品寸法

■ 仕様

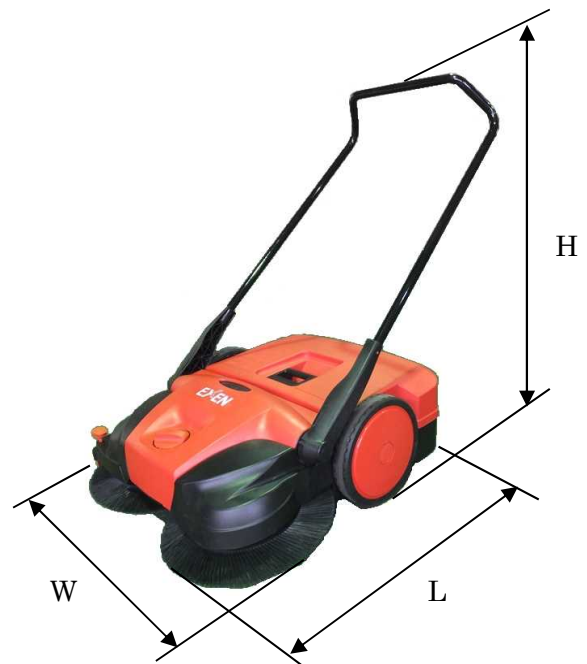
型 式	ES-550A	ES-770
清掃幅 (mm)	550	770
清掃性能 (m ² /h) (3.5km/hの場合)	1,920	2,690
ダストケース容量 (ℓ)	20	50
本体寸法 (使用時) (mm)	580(L)×550(W)×1250(H)	1050(L)×800(W)×1,050(H)
質 量 (kg)	7.2	13.0

■ 製品寸法図

ES-550A



ES-770



○ トラブルシューティング

現 象	原 因	対 策
スイーパーは鈍く動く。 スムーズに動かない	スイーパーの汚れ	スイーパーを掃除してください 「5.4 スイーパーの掃除」を参照
	ブラシの詰まり	詰まりを取り除いてください 「8.3 閉塞を取り除く」を参照
	ブラシ装置の汚れ	ブラシ装置を掃除してください 「5.4 スイーパーの掃除」を参照
	円形ブラシの高さ調節が低すぎる 円形ブラシの接地圧が高すぎる	円形ブラシの高さを調整してください 「5.2 スイーパーの調整」を参照
	円形ブラシが回転しない	円形ブラシ内にある傾斜ホイールを 点検してください
ブラシが曲がる	不適切な保管	ブラシをまっすぐにしてください 「8.5 ブラシの毛を真直ぐにする」 を参照
十分に清掃できない	スイープリップがなくなっている スイープリップが緩んでいる スイープリップがひどくすり減っている	スイープリップを交換してください



本社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-17-13
草加工場 〒340-0003 草加市稲荷 5-26-1

Tel 03-3434-8455 FAX 03-3434-1658
Tel 048-931-1111 FAX 048-935-4473

<https://www.exen.co.jp/>